

柏崎市第五次総合計画策定に向けた

市民ワークショップ

結果報告

◆市民ワークショップの実施概要

【目的】

- ・新たな総合計画を策定に向けて、次世代を担う若い世代の意向を把握する。

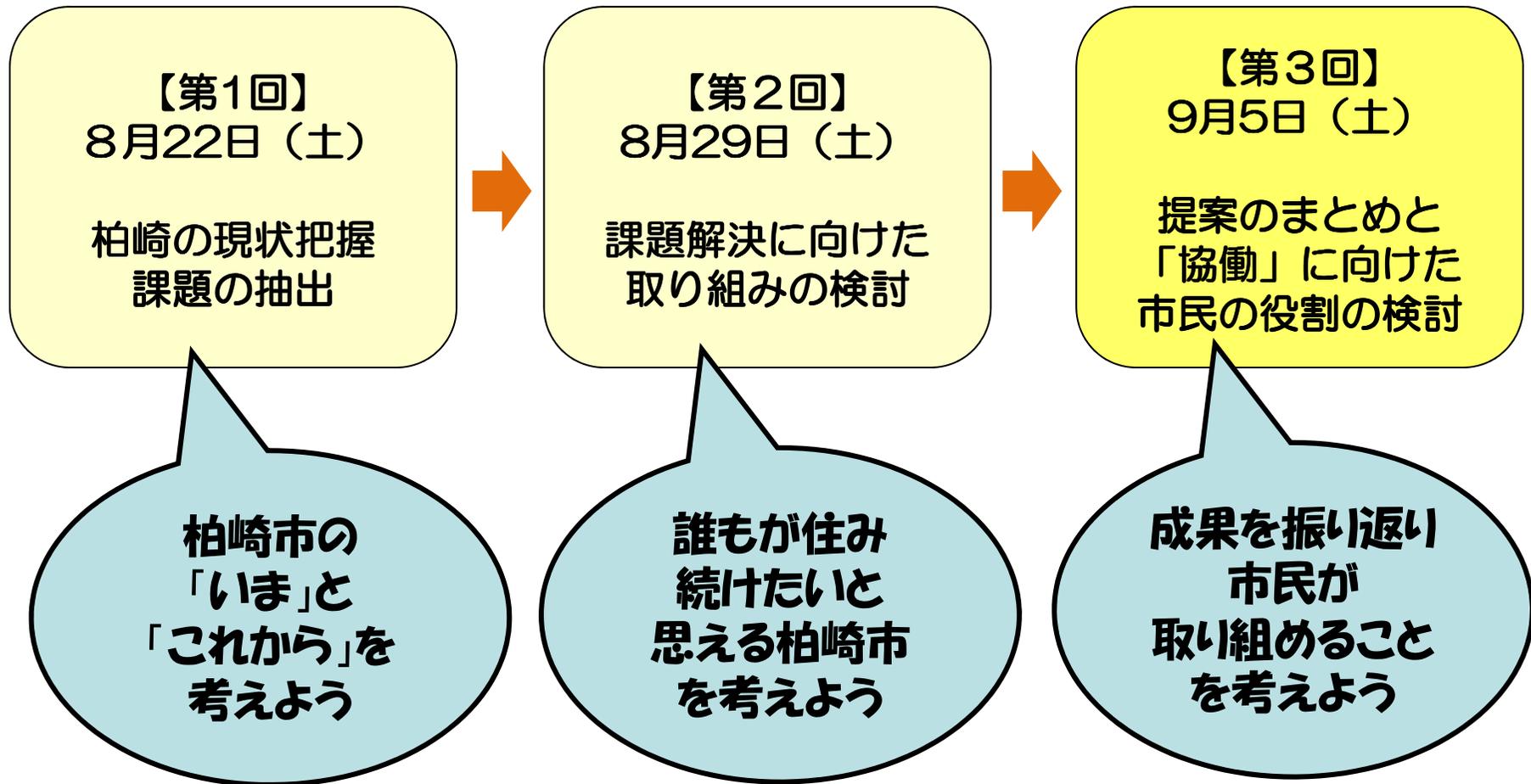
【対象】

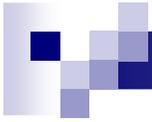
- ・柏崎市に在住・在勤・在学している18歳から40歳代までの方

【参加者数】

- ・22名

◆市民ワークショップの流れ





結果概要

安心して暮らせる

- 治安が良い
- 子育てするのに人が良い
- コミュニティ放送がある

心が豊かに暮らせる

- 海・山などの自然
- 美しい景観
- 自然に触れられる公園

定住

快適・便利に暮らせる

- 長岡・上越に近い
- 買い物に困らない
- 雪が少ない
- 道路網が良い
- 市街地がコンパクト

集客

人を呼び込める資源

- 花火大会、えんま市
- 海・雪などの自然
- 原子力発電所
- 2つある大学
- 食(おかし、B級グルメ)
- 水球

若い人にとっての 魅力が少ない

- 若者が集まる場所がない
- 遊ぶ場所がない
- 欲しいものが買えない
- 文化施設が少ない

若い人が働きたい 場所がない

- 働きたい企業がない
- 大学卒が働く職がない
- 職を選べない

今後の懸念材料

- 原発の今後により左右される
- 原発事故のリスク
- 農業・漁業の後継者不足

資源を 活かしていない

- 豊かな自然や雪
- 水球のまち
- 2つある大学
- 観光資源が点在している
- イベントのPRが少ない
- 市内にお金が落ちない

生活上の不便さ

- 新潟市へのバスが減少、公共交通の不便さ
- 新幹線が通らない狭間の地域
- 専門的な病院の不足(小児科・産婦人科)
- アパートが古い・高い
- コミュニティの維持が困難

人口が減る

- 若者が県外へ出てしまう
- 高齢者がますます増える

負の連鎖

コミュニティ

担い手が減り、
維持が困難

日常生活

店や病院が減少し、
不便になる

行政

収入減少しサー
ビスの維持困難

観光

イベントや施設
を維持できない

治安

空き家の増加
治安の悪化

転出!?

不満・不安
の増大

合併!?

観光客
減少!?

【出会えるまち】

- 男女が出会える
- 仕事に出会える
- 住みたい場所に出会える

【女性(特に若い女性)が増えるまち】

- 子育てしやすい
- 女性が就職したい職がある
- 女性が住みたくなる、きれいなまち

【住みたいのは「柏崎」と思えるまち】

- 若い人が遊べる場所を増やす
- 暮らす場所として選ばれる
- 埋もれている魅力を活性化する

【来たいまち、帰ってきたいまち】

- 子どもが戻ってきたくなる
- 移住希望者が多い
- 外から人を呼びこめる

【安心して生涯を終えられるまち】

- 老人ホームや介護施設の充実
- 住む人が心豊かになる
- 安心して暮らし続けられる

【現状維持】

- 今あるものを活かし、必要以上を求めない
- 現行通り、生活できるまち

||

【コンパクトな街づくり】

- コンパクトなまち
- 市街地に人を集中させる

【ベッドタウン】

- 長岡・上越の発展を支援しベッドタウン化する

【おらいに応じた独自施策】

- 独自施策を打ち出す
(例) 電気料金が安い
高速道路料金の無料化

【自立都市】

- 市内ですべて完結できるようにする
- 人口構成を維持できるまち



目指す姿

【いろんな「人・もの・こと・場所」に出会えるまち】

【女性が增えるまち】

【外から人を呼び込めるまち】

実現に向けた課題

- ・若年層の流出を減らす
- ・生活の基盤となる働き口が少ない
- ・企業側の情報発信が弱い
- ・柏崎独自の魅力や長所がない

- ・女性が働く場がない
- ・働きながら子育てできる環境が必要
- ・まちにオシャレ感がない
- ・魅力的な男性(結婚相手)がいない

- ・イベントが単発・一過性
- ・冬場の観光資源が少ない
- ・交通が不便
- ・観光客のもてなしの質
- ・市外の人が柏崎市を知るきっかけがない

課題解決のための取組み

- 人との出会い
 - ・商店街での「まちコン」
 - ・企業を巻き込んだ同業種交流会
- 仕事との出会い
 - ・農業体験ツアー
 - ・HPでの業種紹介・PR
- もの・場所との出会い
 - ・プレミアムアウトレット
 - ・空き家を使ったカフェ
 - ・柏崎至高の一品カタログ

- チャレンジ！起業
 - ・お試し起業プロジェクト
 - ・集まれる場の確保
- おしゃかわ景観
 - ・コンセプトによる街並みの統一
 - ・店舗の外装・内装資金の補助
- 女性にやさしいまち
 - ・妊婦のタクシー無料化
 - ・働きながら出産・子育てできる環境づくり

- やるぞ！イベント
 - ・組織によるイベント統一
 - ・通年イベントの実施
 - ・資源を活かしたイベント
- 伝えるぞ！イベント
 - ・SNSによる情報発信
 - ・イベントパスポート
 - ・柏崎市版観光誌の作成
- 移住者向けの取組み
 - ・移住希望者向けツアー
 - ・空き家の借り上げ
 - ・移住者コミュニティ

「好きかも これからの柏崎」

柏崎市が選ばれ、愛されるまちになるためには、他より一歩進んだ独自性を出していかなければならない。その独自性を「好き」と断言できなくても「好きかも」というこれからの期待を持てるようなまちにしていきたい。

「夢、可能性 はじまいのまち」

若者が希望を持てるまちにしたい、という思いがこめられている。若者が自分の夢を描くことができ、若者のチャレンジを支援することによって、誰もが自分の夢の実現に向けてスタートできるまちを目指す。

**「インパクト、
コンパクト、
チャレンジシティ」**

仕事があれば若者がくる。これからの担う若者が「必ず仕事が見つかる」「失業率0%」という目標を掲げたインパクトのある柏崎市に惹かれ、コンパクトなまちの中でもチャレンジしたいと思えるまちにする。

「応縁」

男女の出逢い、仕事との出会い、自然との出会い…「縁」をいっぱいつくりたい。その「縁」を応援するまちになりたい。そして、その応援を受けた人が、次の世代を応援する人になってほしい。そんな願いを込めて。

「脱・消滅都市柏崎」

ネガティブで危機感を煽る単語だが、「消滅する前に住んでみない？」という、気軽に柏崎市を訪れ、住んでほしい、という思いが込められている。

人の魅力

柏崎市を好きになる

- ・ 柏崎市の良いところを5つ言えるようにする
- ・ 柏崎市にある面白い場所を探す

自分が楽しく過ごす

- ・ まちで会った人に挨拶をする
- ・ 1人1人が自分の強みを自覚し、考える

仕事・経済

柏崎市内でお金を動かす

- ・ 柏崎市内の企業研究をする（就職活動に向けて）
- ・ できるだけ柏崎市内で買い物をする、食事をする
- ・ 柏崎市産のものを購入する（農業の生産増、経済活性）

まちの活性

若者を増やす

- ・ 合コンを開催する
- ・ 地域の現状に危機感を持つ
- ・ 若者（特に子ども）を宝と思う

行政に頼らない

- ・ 町内会の行事に参加する
- ・ 柏崎市の各課で企画されるイベントや講座に参加する。
- ・ 柏崎市の各課の調査（アンケートなど）で意見を伝える

(参考) 柏崎市の将来像について

将来像: 柏崎市が将来目指すべき姿を示す都市像

第1回・第2回で出された意見



(参考) まちづくりの方向性について

まちづくりの方向性: 将来像の実現に向けた分野ごとの方向性

第1回・第2回で出された意見

人に関する
キーワード

若い人にとって
魅力ある

コミュニティが
維持できる

子育て
しやすい

女性に
やさしい

若者が
チャレンジできる

移住者を
受け入れる

男女の
出会いがある

観光客を
もてなす

**まちに関する
キーワード**

資源を活かす

**コンパクトな
まちづくり**

**街並みの統一
感がある**

**集客力のある
施設がある**

**集まる場
がある**

**仕事に関する
キーワード**

**働きたい仕事
がある**

**女性が
働きやすい**

**若者の起業を
支援する**

**農業・漁業を
サポートする**